

# 床暖房 取扱説明書

〈施工業者様へお願い〉  
本書(取扱説明書)をお施主様に  
お渡しいただけますよう  
よろしくお願いいたします



# 安全上のご注意

## 警告

以下は、「死亡または重傷を負う可能性がある」内容です。

⊗ 機器の分解・改造・修理をしないでください。

感電、火災、故障のおそれがあります。

⊗ 床暖房敷設部や温調スイッチに、水をかけないでください。

感電、火災、故障のおそれがあります。

⊗ 床暖房敷設部や温調スイッチに、針や先の尖ったものを刺したりしないでください。

感電、火災、故障のおそれがあります。

⊗ スプレー缶、ライター等を近くに置かないでください。

火災、故障のおそれがあります。

## 注意

以下は、「傷害を負うか物的損害が発生する可能性がある」内容です。

⊗ 直射日光、高温、多湿、塵埃、引火性ガス、腐食性ガス、振動、衝撃のある環境下でのご使用は避けてください。

故障、誤作動のおそれがあります。

⊗ 温調スイッチの表面を水やアルコール等の薬品で拭かないでください。

漏電による感電、火災のおそれがあります。

床暖房を安全にお使いいただくために、下記のことをお守りください。

### 床暖房敷設部に置いてはいけないもの

ピアノ 熱によるひずみ、反りが発生するおそれがあります。また、調律が狂う可能性があります。

スプレー缶 熱でスプレー缶の中身が膨張し、爆発や火災のおそれがあります。

保温性の高いもの 布団、カーペット、座布団等を長時間同じ場所に置くと、変色・変形・焼損のおそれがあります。

床面に接する面積の大きいもの 箆筥、ソファ、ベッド、食器棚等。床面からの高さ5cm以上の脚付きのものであれば使用可能です。

### 床暖房敷設部ではいけないこと

ホットカーペットやコタツ等の暖房機器との同時使用はしないでください。

床材のひび割れや変色のおそれがあります。

床にビス・釘を打たないでください。

感電のおそれがあります。

床暖房を安全にお使いいただくために、下記のことにお気を付けてください。

床面に大量の液体がこぼれた場合は、すぐにふき取ってください。

漏電・火災のおそれがあります。

ふき取った後は、施工店様の点検を受けてください。

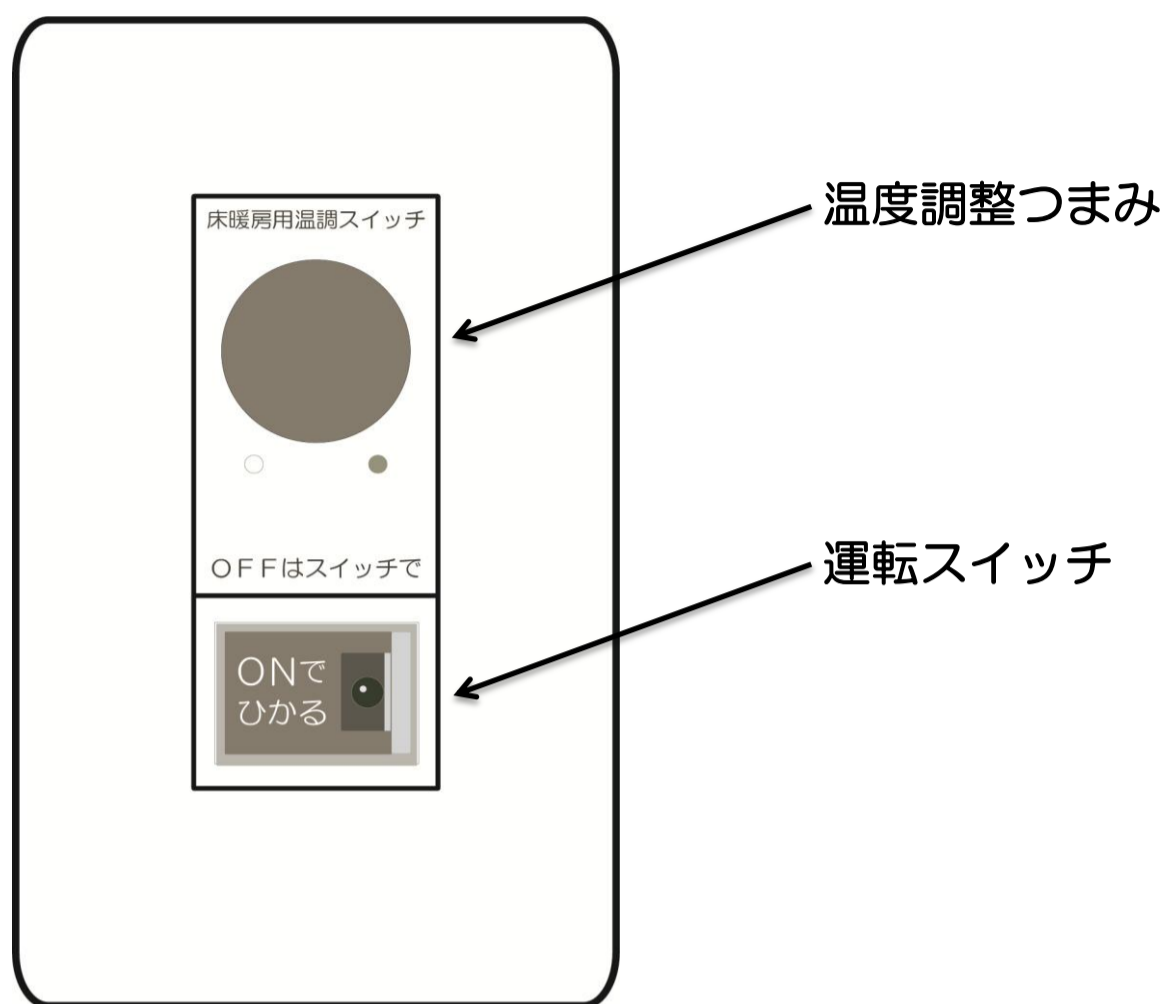
床面での睡眠等の長時間の接触をお避けください。

低温やけどを起こすおそれがあります。

特に乳幼児、お年寄り、ご病人、自分で温度調節できない方、皮ふ感覚の弱い方・

眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方・深酒・疲労の激しい方はご注意ください。

# 各部の名称とはたらき



## 使いかた

- ①**運転スイッチを押す**
  - ・ 運転を開始し、運転ランプが点灯します。
- ②**温度調整つまみで温度を調節する**
  - ・ 時計回りに回すと温度は高くなります。
- ③**停止するときは、再度運転スイッチを押す**
  - ・ 運転を停止し、運転ランプが消灯します。
  - ・ 温度調整つまみでは停止することはできません。
  - ・ 運転スイッチを押し、運転ランプが消えていることを確認してください。

## 仕様

定格電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
定格容量	400VA
使用周囲温度	0~35℃

# 故障かな？と思ったら

症状	ご確認ください
電源が入らない	分電盤のブレーカがOFFになっていませんか？ ご使用前に床暖房ブレーカがONになっていることを確認してください。
暖まりすぎる	温度設定は適切ですか？ 高いレベルに設定していると暖まりすぎる可能性があります。 温度調整つまみで調節し、ご使用ください。
暖まらない	室温は適切ですか？ 室温が低い場合、床暖房の暖まりが弱いと感ずることがあります。 一時的にエアコン等で室温を20℃前後まで暖めていただくことで快適にお過ごしいただけます。

上記の方法で症状が改善されないときは、速やかに床暖房の使用を中止し、ブレーカをOFFにして、販売代理店にご連絡ください。

## その他の症状

以下のような場合は、速やかに床暖房の使用を中止し、ブレーカをOFFにして、販売代理店にご連絡ください。

- ・煙、異音、異臭が発生した。
- ・温調スイッチの一部が変形・変色していたり、異常に熱い。
- ・床暖房敷設部に大量の水をこぼした。
- ・その他の異常がある。

製造・販売元

## 株式会社アルシステム

本社

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-14-33 TCSビル6F

TEL：06-6310-6826 FAX：06-6310-6827

E-mail：osaka@irsystem.jp

東京支店

〒110-0013 東京都台東区入谷1-2-3 K・Kビル3F

TEL：03-6802-4846 FAX：03-6802-4847

E-mail：tokyo@irsystem.jp